

平成27年度 学校評価実施報告書

3 2回目評価

・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定						自己評価		学校関係者評価	
						評価日	平成28年2月2日	評価日	平成28年2月25日
						評価者・組織	学校評価委員会	評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
	分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	分析 (成果と課題)	自己評価に 対する改善策	学校関係者評価による意見	学校運営協議会・学校評議員 による改善に向けた支援策
1	確かな学力	読書の習慣化	朝読書の確実な実施	学校外でも読書すること 生徒に学校外でも読書するように働きかけること	生徒・保護者・教職員四方に 実現度が低い 実現度3. 1～3. 9	⇒	・国語科や総合的な学習の時間の授業で図書室を活用した学習を行った。 ・主体的な学習活動を積極的に授業に取り入れられるよう授業の自己評価の視点を提示した ・3年は家庭学習の時間が伸びたが、1. 2年は習慣がついたとはいえない。	⇒	・前回よりも、学習や読書に関する生徒・保護者・教職員の意識は向上しているが、家庭学習につながるような課題の検討をしてほしい。 ・子どもたちが学習するスペースは開放されているか。ピロティーではたくさんの生徒が学習しているのをよく見るが、図書室の放課後の開館を検討してはどうか。
		授業改善	基礎基本の確実な定着 探究力(活用力)の育成	授業がわかりやすいこと 授業に積極的に参加すること	重要度6. 7 実現度4. 4 重要度6. 3 実現度4. 6 「出来ている」は75%程度				
		家庭学習の定着	生徒の意欲・関心を高める 家庭学習課題の提出	家庭で1h以上学習すること	生徒・保護者共に「出来ている」は50%程度				
2	豊かな心	学校生活が楽しい	生徒会活動や授業を中心とした取り組み(呼びかけ)	わたしは、学校に来るのが楽しいです	「楽しい」と感じている生徒の割合は前回と大きな変化は見られない。	⇒	・「学校に来るのが楽しい」ことが大切であると思う生徒が増えているので、さらに取り組みを充実させる必要がある。 ・自己有用感を高める為、生徒の主体的な活動を認める様々な場を意図的に創っていく。 ・規範意識の向上につながる道徳教育および生徒の主体的な取組を推進する。また、日常的な声かけ、きめ細やかな指導を徹底する。	⇒	・生徒が地域で積極的に取り組んでいると感じる。 ・良くなっている所をもっとアピールしてはどうか。 ・叩かれたり、蹴られたり、押されたりした生徒の割合は減っているの地道に取り組まれていると思うが、まだ残っていることに意識してほしい。
		自己有用感の育成	あらゆる場面で生徒の活動を認めて褒める	わたしは、クラスの人の役に立っていると感じています	「役に立っている」と感じている生徒の割合は前回と大きな変化は見られない。				
		規範意識の向上	生徒会活動や授業を中心とした取り組み(呼びかけ)	叩かれたり、けられたり、強く押されたりした	加害生徒の割合は前回よりも低くなった				
3	健やかな体	基本的な生活習慣の確立(朝食)	・保健だよりによる啓発活動 ・学級活動での保健指導	朝ご飯を食べること	毎朝朝食を食べている生徒は、8割程度である。	⇒	・朝食を食べる、お知らせを保護者に渡すなど家庭生活に関する内容を向上している。しかし、毎朝朝食を食べずに登校してくる生徒もいる。その理由は、「時間が無い」「朝起きるのが遅い」が多く見られた。朝食と睡眠をつなげて指導する必要性を感じる。	⇒	・家庭学習以外の時間(スマホ・携帯の使用、ゲームで遊ぶ)の時間が増え、朝食・睡眠時間など基本的な生活習慣が確立しにくくなっているのではない。 ・睡眠時間の必要性についての授業をしてほしい。
		基本的な生活習慣の確立(就寝時間)	・毎朝の担任による健康観察 ・保健だよりによる啓発活動 ・学級活動での保健指導	8時間程度の睡眠を取ること	学年が上がるにつれて「就寝時間が遅くなる傾向がある。8時間以上の生徒は54%				
4	独自の取組	小中一貫教育の推進	・小中合同研修会の実施 ・小中6主任会の実施 ・出前授業の実施 ・オープンキャンパスの実施	・小中合同研修会、6主任会の実施 ・小学校と連携をして授業改善や生活指導に取り組んでいるか。(教職員)	・合同研修会2回(夏季休業中・2月)に実施。各主任会2、3回実施。 ・まだまだ推進していく余地がある。	⇒	・昨年度同様、校区3小学校と共通のテーマとして道徳教育の取組を進めている。今年度は英語の主任会を増やし、6主任会として、学習・生指・総育支援においての連携も実施している。 ・今年度は生徒の地域行事への参加の呼びかけも行い、少しずつではあるが、行事へのボランティアとしての参加者も増えてきた。生徒・保護者・教職員の地域行事やボランティア参加の意識が向上してきた。また、吹奏楽部も積極的に地域行事へ参加してくれている。 ・学校運営協議会の方の協力を得て、2年目となる防災学習を実施。今年度は地域の方も参加していた。	⇒	・学校のホームページは良くできていると思う。 ・PTAのメール配信の活用状況はどうか。また、必要な情報の発信はして頂くとして、子どもと保護者のコミュニケーションがとれるようにしてもらいたい。 ・今年度、地域行事に参加してもらい助かった。
		保護者・地域との連携	・地域行事へのボランティア活動への呼びかけ ・学校運営協議会を中心に防災学習に取り組む	・地域行事やボランティア活動に参加すること	・ボランティア活動への参加は必要とするもまだ十分にできていないが、積極的に参加する生徒も現れ、生徒・保護者・教職員の意識が上がる。地域の方からお礼の声をよく聞くようになった。 ・地域の方にも参加していただき防災学習を実施。				
		情報発信の充実	・学級、学年、進路、学校だよりの発行やホームページの更新	・学校ホームページのアクセス数 ・地域の声	・1日の平均アクセス数が昨年度より増えている。また、地域の方から「たよりの配布により、学校の今の様子がわかるようになった」との声を聞く。				

4 総括・次年度の課題

・現在、子どもたちは落ち着いた学校生活を送っている。また、生徒の地域での活動が増え、地域の方々の学校への意識も高くなり、協力をして頂ける機会が増えた。しかし、個々に生徒を見てみると、まだまだ気になるところもある。いじめや不登校の問題も深刻である。今後は、よりきめ細やかな指導を行ってきたい。
・宿題・課題の出し方や量について検討し、家庭学習の習慣化にしっかりと取り組んでいきたい。
・学習規律や規範意識をさらに向上させるために、小中や小中でしっかり連携し、義務教育9カ年の見通しを持って学習規律や規範意識の定着をはかりたい。
・自己有用感を高めるために、小学校や地域と連携しながら、教育課程の中で子どもたちの主体的な活動の場を設定したい。